令和４年度入学試験
（オンライン試験）

沖縄県立芸術大学
音楽学部

問題解答例

入試問題・解答例

《試験科目　目次》

＊一般入試

		問題	解答
楽典（本試験）（音楽表現専攻、音楽文化専攻音楽学ｺｰｽ）	・・・	1	2
楽典（再試験）（音楽表現専攻、音楽文化専攻音楽学ｺｰｽ）	・・・	3	4
楽典（音楽文化専攻沖縄文化ｺｰｽ、琉球芸能専攻）	・・・・・・・・	5	6
聴音	・・・・・・・	7	―
新曲視唱	・・・・・・・	8	―
作曲実技	・・・・・・・・・	9	―
小論文（音楽文化専攻）	・・・・・・・・・	10	11
小論文（琉球芸能専攻社会人選抜）	・・・・・・・・・	12	―
初見視唱	・・・・・・・・・	14	―

＊推薦入試

		問題	解答
楽典（音楽表現専攻）	・・・・・・・・・	15	16
楽典（音楽文化専攻沖縄文化ｺｰｽ、琉球芸能専攻）	・・・・・・・・・	17	18
小論文（音楽文化専攻）	・・・・・・・・・	―	19

令和４年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般選抜試験（本試験問題）

科目名：　　楽典　　専攻名・コース名：　　音楽表現専攻

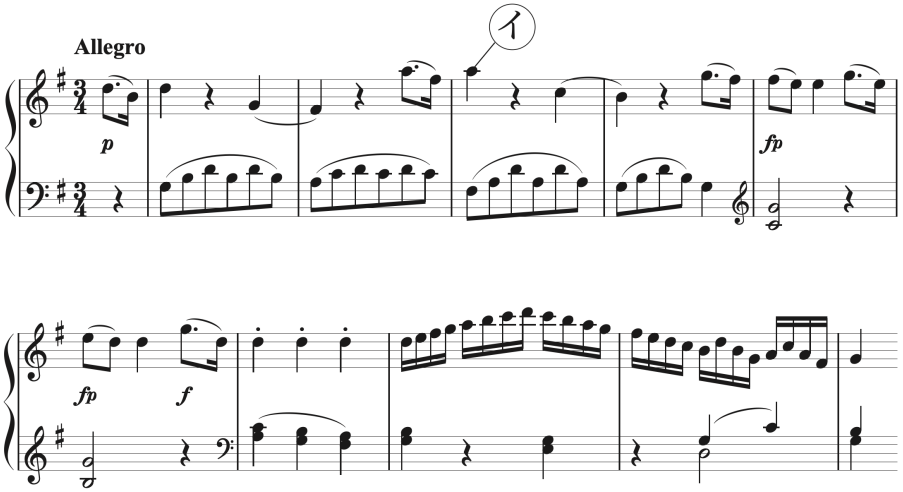
Ⅰ　下記の楽譜１）は、モーツァルトのピアノソナタの抜粋です。設問に答えなさい。

1　楽譜１）の調をドイツ語で答えなさい。

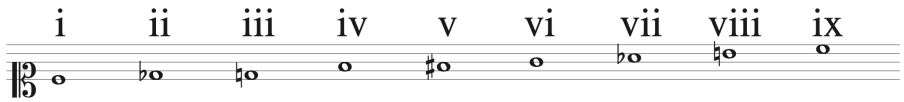
2　楽譜１）の㋑の音を属音とする短調の音階を、調号を用いて書きなさい。
（長調の場合は長音階の上行形、短調の場合は和声短音階の上行形を書くこと）

3　第１小節と第２小節を長二度上に移調し、調号を用いないで解答用紙に記入しなさい。
（強弱記号なども全て明記する。）

楽譜１）



Ⅱ　下記は、メシアンの「移高が限られた第４旋法」です。ⅰ～ⅸの音を組み合わせてできる和音（異名同音を含む）の種類を例にならって答えなさい。



例 ⅱ＋ⅳ＋ⅶ　1　ⅰ＋ⅳ＋ⅶ　2　ⅲ＋ⅳ＋ⅶ　3　ⅲ＋ⅴ＋ⅷ

4　ⅲ＋ⅵ＋ⅷ　5　ⅲ＋ⅳ＋ⅵ＋ⅷ　6　ⅲ＋ⅳ＋ⅶ＋ⅷ

Ⅲ　下記の楽譜２）は、モーツァルトのピアノソナタの抜粋です。設問に答えなさい。

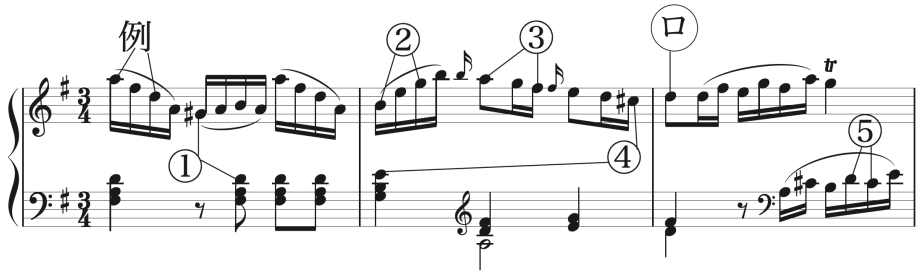
1　①～⑤の音程を例にならって答えなさい。（複音程は単音程に直すこと）

2　楽譜２）の調をドイツ語で答えなさい。

3　楽譜２）の㋺の音を主音とする長調の主要三和音を解答用紙に指定された譜表に調号を用いて全音符で書きなさい。また、その名称を譜表の上部に、和声記号を下部に書きなさい。

4　楽譜２）の完全小節を♩＝90のテンポで演奏した時の演奏時間を秒数で答えなさい。
（ただし、演奏によるテンポの変化はないものとする）

楽譜２）



Ⅳ　次の楽語の意味を表１のア～ケから選び記号で答えなさい。

1　assai	2　Prestissimo	3　pastorale
4　nobile	5　pesante	6　affettuoso

表１

ア　牧歌的に	イ　情熱を込めて	ウ　のんびりと
エ　極めて　非常に	オ　～のように	カ　重々しく
キ　きわめて速く	ク　上品に	ケ　愛情を込めて　優しく

令和４年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般選抜試験
（本試験　模範解答）

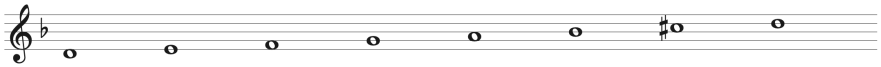
科目名：　楽典

受験番号	

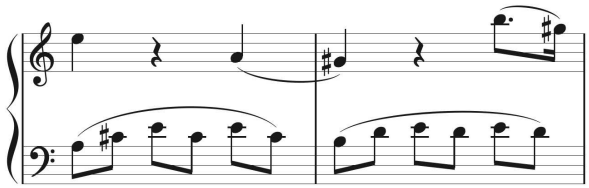
I

1 G-dur

2



3



II

例 長三和音

1 短三和音　2 減三和音　3 短三和音

4 長三和音　5 属七の和音　6 減七の和音

III

1

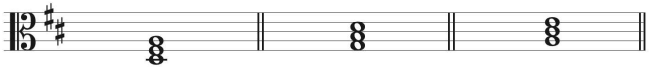
例 完全五度　① 増四度　② 短六度

③ 短三度　④ 長六度　⑤ 短二度

2 D-dur

3

名称（　主和音　）（　下属和音　）（　属和音　）



和声記号（　D: I　）（　D:IV　）（　D: V　）

※「D:」は省略可

4 6秒

IV

1 エ　2 キ　3 ア

4 ク　5 カ　6 ケ

P2

令和４年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般選抜試験（再試験問題）

科目名：　　楽典　　専攻名・コース名：　　音楽表現専攻

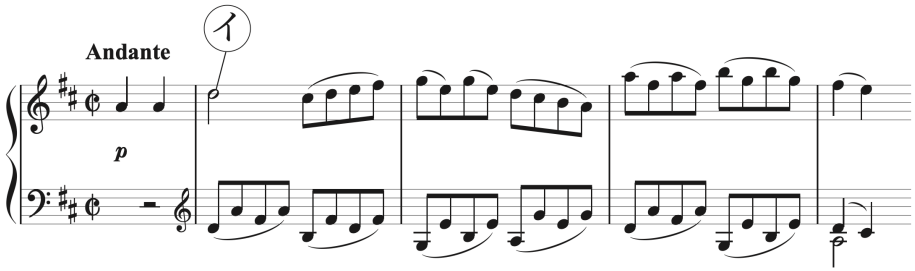
Ⅰ　下記の楽譜１）は、モーツァルトのピアノソナタの抜粋です。設問に答えなさい。

1　楽譜１）の調をドイツ語で答えなさい。

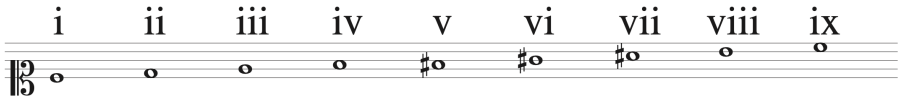
2　楽譜１）の㋑の音を主音とする短調の音階を、調号を用いて書きなさい。
（和声短音階の上行形を書くこと）

3　第１小節と第２小節を長二度上に移調し、調号を用いないで解答用紙に記入しなさい。
（アーティキュレーションなども全て明記する。）

楽譜１）



Ⅱ　下記は、メシアンの「移高が限られた第６旋法」です。ⅰ～ⅸの音を組み合わせてできる和音（異名同音を含む）の種類を例にならって答えなさい。



例 ⅰ＋ⅲ＋ⅵ　　1　ⅱ＋ⅳ＋ⅵ　　2　ⅲ＋ⅵ＋ⅷ　　3　ⅱ＋ⅴ＋ⅷ

4　ⅱ＋ⅴ＋ⅶ　　5　ⅱ＋ⅲ＋ⅵ＋ⅷ　　6　ⅱ＋ⅳ＋ⅵ＋ⅷ

Ⅲ　下記の楽譜２）は、モーツァルトのピアノソナタの抜粋です。設問に答えなさい。

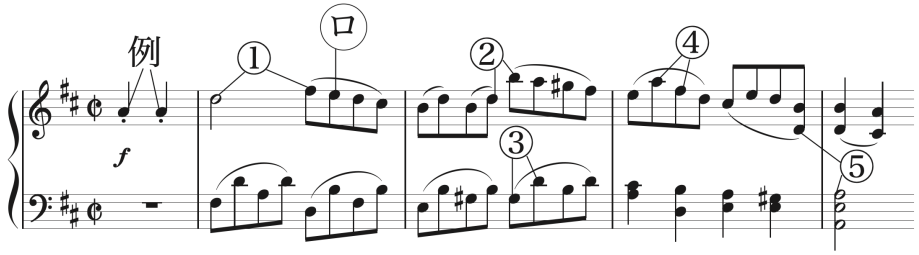
1　①～⑤の音程を例にならって答えなさい。（複音程は単音程に直すこと）

2　楽譜２）の調をドイツ語で答えなさい。

3　楽譜２）の㋺の音を属音とする長調の主要三和音を解答用紙に指定された譜表に調号を用いて全音符で書きなさい。また、その名称を譜表の上部に、和声記号を下部に書きなさい。

4　楽譜２）の完全小節を♩＝80のテンポで演奏した時の演奏時間を秒数で答えなさい。
（ただし、演奏によるテンポの変化はないものとする）

楽譜２）



Ⅳ　次の楽語の意味を表１のア～ケから選び記号で答えなさい。

1　serioso　　2　Moderato　　3　risoluto

4　senza sord.　　5　dolente　　6　con sord.

表１

ア　弱音器なしで	イ　決然と	ウ　のんびりと
エ　悲しげに	オ　中位の速さで	カ　重々しく
キ　厳粛に	ク　上品に	ケ　弱音器をつけて

令和４年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般選抜試験

（再試験　模範解答）

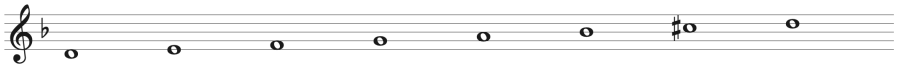
科目名：　楽典

受験番号	

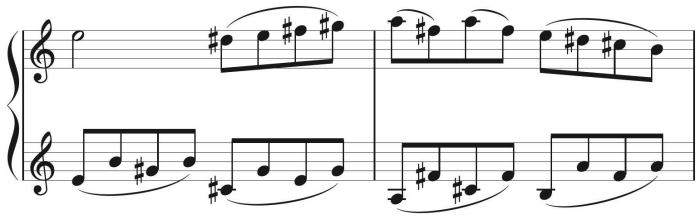
I

1　D-dur

2



3



II

例　増三和音

1　減三和音　　2　長三和音　　3　短三和音

4　増三和音　　5　属七の和音　　6　減七の和音

III

1

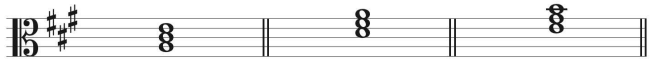
例　完全一度　　①　長三度　　②　長六度

③　減五度　　④　短三度　　⑤　完全四度

2　A-dur

3

名称（　主和音　）（　下属和音　）（　属和音　）



和声記号（　A: I　）（　A:IV　）（　A:V　）

※「A:」は省略可

4　9 秒

IV

1　キ　　2　オ　　3　イ

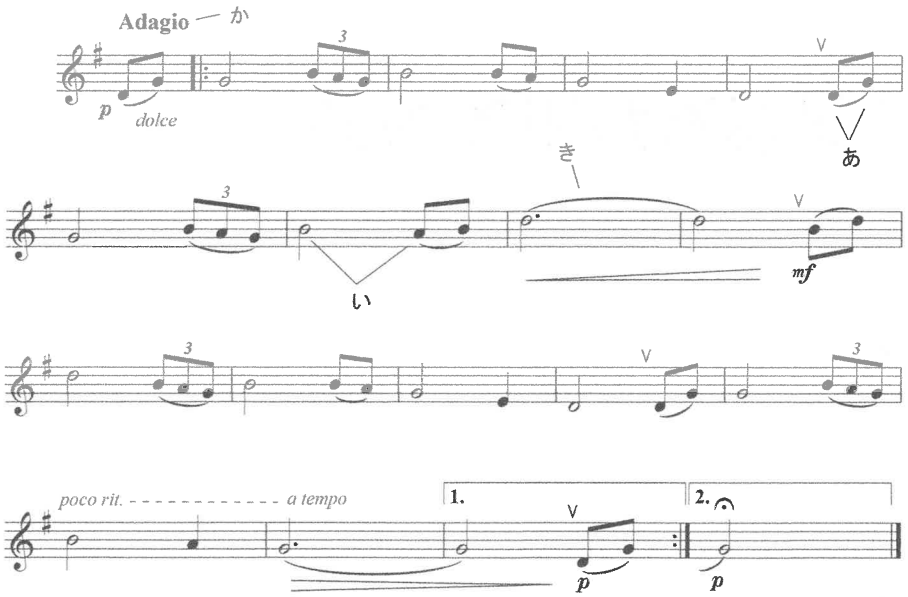
4　ア　　5　エ　　6　ケ

P4

令和4年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般選抜試験

科目名：楽典　専攻名・コース名：音楽文化専攻沖縄文化コース、琉球芸能専攻

1．次の楽譜は、作曲者不明《アメージング・グレイス》の旋律である。次の(1)～(6)の問いに答えなさい。



(1) この曲は、何分の何拍子か。

(2) この曲は、何調か。

(3) **あ、い** の音程はそれぞれ何度か。解答用紙の例にならって答えなさい。

(4) **か、き** の記号の名称と意味を答えなさい。

(5) この曲を♩＝48の速度で演奏すると、全曲演奏するにはおよそどのくらいの時間がかかるか。計算式を書いた上で、時間を答えなさい。
(演奏上の速度の変化は無視すること)

(6)この楽譜の3段目（9小節目から13小節目）までを全音高い調に移調し、解答用紙の五線に書きなさい。その際、ト音記号と調号を書き入れること。

2．次の(1)～(2)の問いに答えなさい。

(1)解答用紙の五線に、次の音階の上行形を、全音符で臨時記号を使って書きなさい。
ア ハ短調（和声的短音階）　**イ** ホ長調

(2)解答用紙の五線に、次のコードネームが示す和音を、全音符で臨時記号を使って書きなさい。
ア A　**イ** Gm　**ウ** C

3．次の(1)～(9)の問いの中から、5つを選んで答えなさい。なお、選んだ問いの番号を解答用紙の（　）に書くこと。

(1)イ短調の平行調は何調か。

(2) *D.C.* の読み方と意味を答えなさい。

(3)次のコードネームの中から、ト長調の主要三和音に当たる和音を選んで答えなさい。
G　A　B　C　D　E　F♯

(4)次の中から、同じ長さになる音符の組み合わせを二つ選び、記号で答えなさい。
ア 4分音符＋8分音符＋8分音符　**イ** 2分音符＋16分音符
ウ 付点8分音符＋16分音符＋8分音符　**エ** 8分音符＋付点4分音符

(5)オーケストラに使われる金管楽器を二つ答えなさい。

(6)三線の二揚調子において、中絃をG（ト音）とすると、男絃はどの高さの音になるか。音名で答えなさい。

(7)三線の本調子において、男絃と女絃の音程は何度か。1.(3)の例にならって答えなさい。

(8)琉球箏曲の本調子の調弦において、五の絃と六の絃の音程は何度か。1.(3)の例にならって答えなさい。

(9)古典女踊り「天川」で用いられる曲名（節名）をすべて答えなさい。

令和４年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般選抜試験
（第４試験室）

科目名：楽典（音楽文化専攻沖縄文化コース、琉球芸能専攻）（解答用紙）

受験番号	

１．

(1)　４分の３拍子　　(2)　ト長調

(3)　[例]　短７度

あ　完全４度　　い　長２度

(4)　か　名称　アダージョ　　意味　緩やかに

き　名称　タイ　　意味　同じ高さの二つの音をつなげる

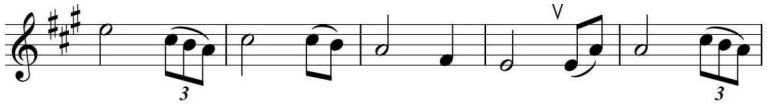
(5)

計算式

６０÷４８×３×３２＝１２０

１２０　秒

(6)

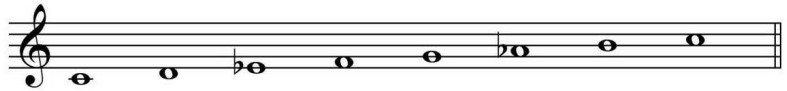


（演奏上の記号は無くてもよい）

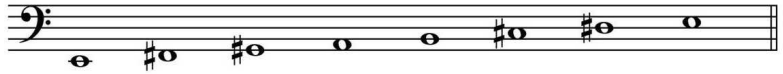
２．

受験番号	

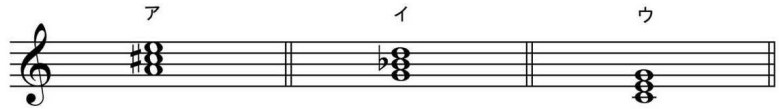
(1)　ア



イ



(2)



３．

（１）ハ長調　　（２）ダ・カーポ　最初に戻る

（３）G　C　D　　（４）ア、エ

（５）トランペット、トロンボーン、ホルン、テューバ等（二つ）

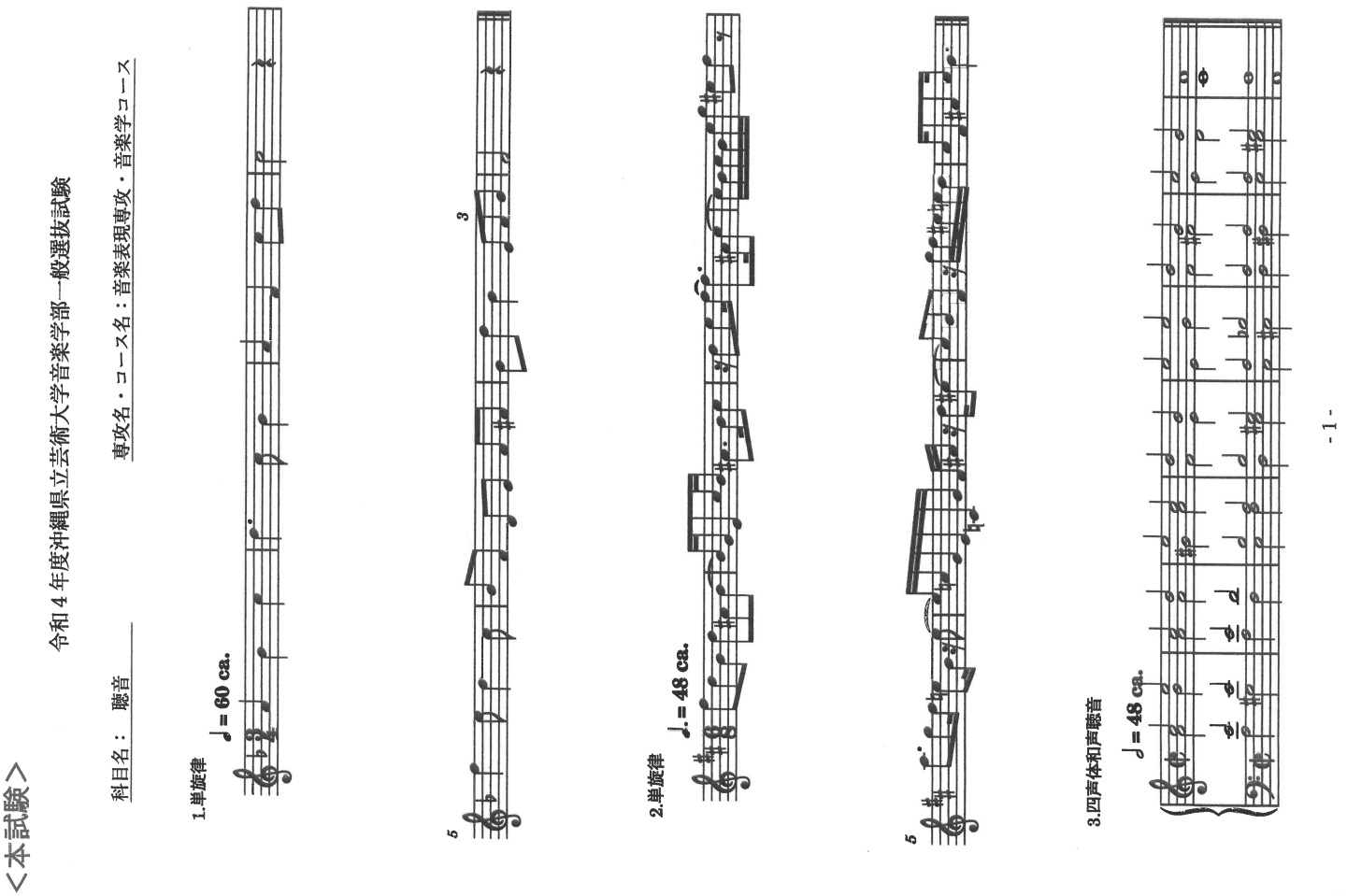
（６）C（ハ音）　　（７）完全８度

（８）長２度　　（９）天川節、仲順節

☆解答用紙送信手順

解答終了後、解答用紙を写真撮影し、その画像データを下記のメールアドレスに添付送信してください。その間、zoom への入室は保持してください。メールの件名には受験番号を記入してください。本文への記入は必要ありません。解答用紙 1 ページにつき一つのデータでお送りください。データは解答用紙全体が見られるものであり、解答内容が鮮明に確認できるものにしてください。

第４試験室メールアドレス：musicexam4@okigei.ac.jp　　非常時連絡先：098-882-5080



2021 聴音 試験問題内容 ＜本試験＞

1. 単旋律課題　F-dur　3/4 拍子　8小節

冒頭主和音　1回
通奏　1回
前半４小節　3回
通奏　1回
後半４小節　3回
通奏　1回

2. 単旋律課題　h-moll　6/8拍子　8小節

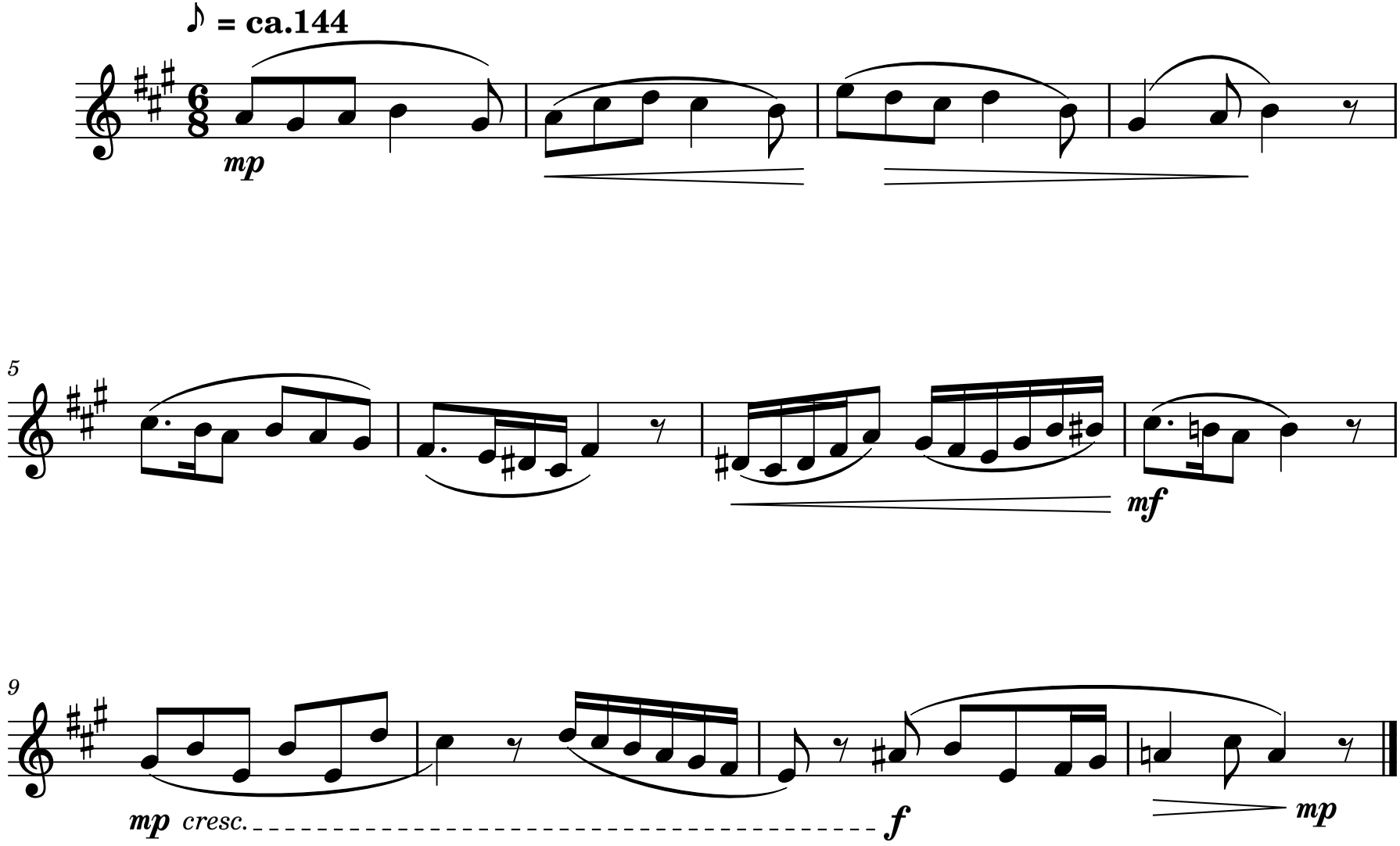
冒頭主和音　1回
通奏　1回
前半４小節　3回
通奏　1回
後半４小節　3回
通奏　1回

3. 四声体和声課題　a-moll　2/2拍子　8小節

冒頭主和音　1回
通奏　7回

科目名：　新曲視唱

専攻名・コース名：音楽表現専攻・音楽学コース

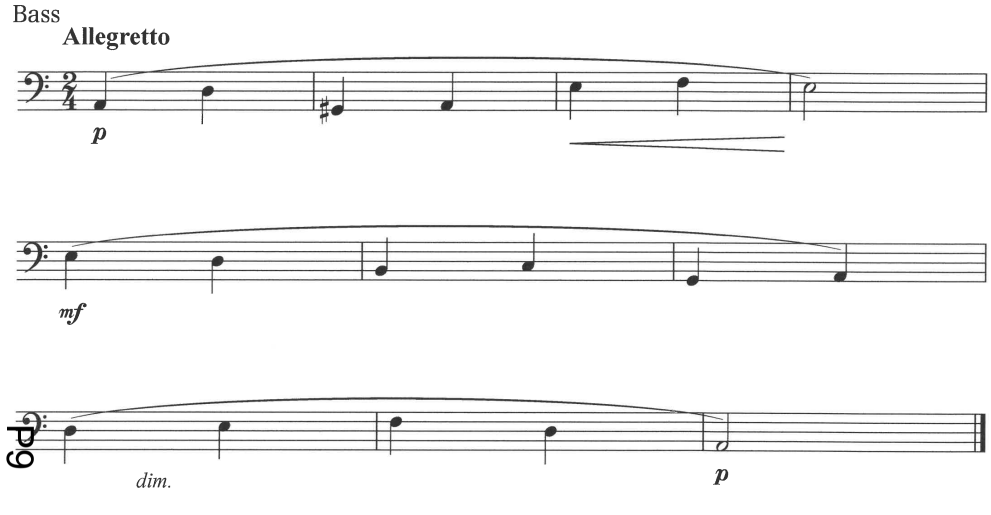


令和４年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般選抜試験
（本試験　問題）

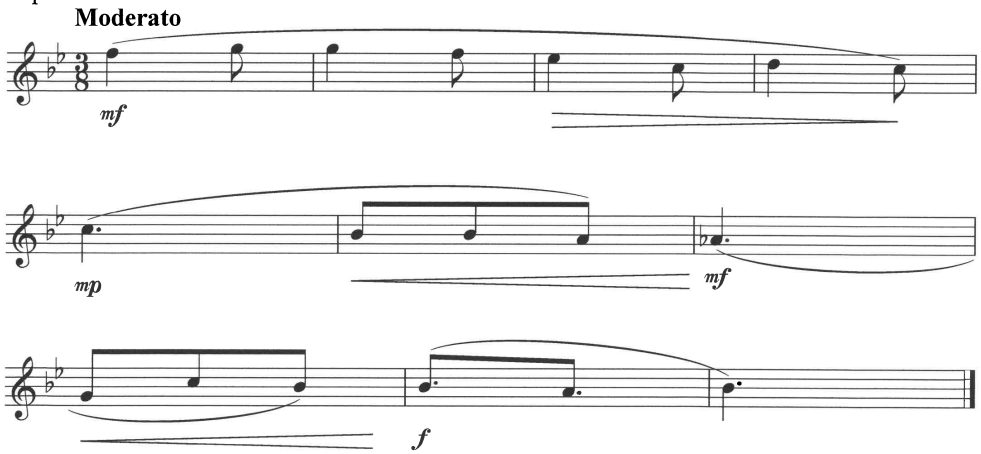
科目名：　作曲実技　　専攻名・コース名：音楽表現専攻・作曲理論コース

次の和声課題を四声体で実施しなさい。

Bass



Sop.



令和４年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般選抜試験
（本試験　解答用紙）

科目名：　作曲実技　　受験番号：

＜作曲実技（和声）　入学試験問題　出題意図＞

バス課題：

１、　主調を正しく把握しているか。
２、　終止形を正しく把握しているか。
３、　和音の縦の響きに意識を置いているか。
４、　和音の横の流れに意識を置いているか。
５、　各声部の流れを意識しているか。
６、　各声部間の響きを意識しているか。
７、　借用和音を正しく使っているか。
８、　転調を正しく把握しているか。
９、　和音連結法は、理論と規則に従っているか。
１０、ソプラノのラインを美しく作っているか。

ソプラノ課題：

１、　主調を正しく把握しているか。
２、　終止形を正しく把握しているか。
３、　和音の縦の響きに意識を置いているか。
４、　和音の横の流れに意識を置いているか。
５、　各声部の流れを意識しているか。
６、　各声部間の響きを意識しているか。
７、　借用和音を正しく使っているか。
８、　転調を正しく把握しているか。
９、　和音連結法は、理論と規則に従っているか。
１０、バスのラインを美しく作っているか。

令和４年度沖縄県立芸術大学音楽学部一般選抜試験

科目名：小論文　　専攻名・コース名：音楽文化専攻　沖縄文化コース・音楽学コース

　次の課題図書を読んで、問いに対する答えを解答用紙に記入しなさい。

岡田暁生『音楽の危機　《第九》が歌えなくなった日』（中公新書、2020）

問１　課題図書の各章の中から、あなたが興味を持った章を１つ選び、その概要を説明しなさい（400～600 字程度）。

問２　著者の述べる「音楽の危機」に対して、あなたの考えを論じなさい（1600 字程度）。

令和４年度　沖縄県立芸術大学音楽学部　一般選抜

小論文（音楽文化専攻　沖縄文化コース・音楽学コース）

１．出題の意図

課題図書は、コロナ禍を契機とした「音楽と近代社会のありよう」についての考察の試みである。出題は、興味を持った章や著者の考え方について説明させ、受験者の考えを述べさせることにより、受験者が課題図書の内容をどのように理解し、どのように考えたか、またその考えをどのように他者に対して的確に伝えることができるかを問うものである。

２．評価の観点

・課題図書に対する理解
・音楽や舞踊に対する知識・理解、関心・問題意識
・論理性、思考力
・独創性、発想力
・文章構成力・表現力（誤字脱字や文章の技術等も含む）

令和４年度沖縄県立芸術大学音楽学部社会人選抜試験

科目名：小論文　　専攻名：琉球芸能専攻

次の文章を読んで、文章に続く問題に答えなさい。

スポーツ・音楽・芸術領域における「わざ言語」の作用の考究においては、まずもってそこで目指されている事柄について考えておく必要があろう。以下、これまで筆者が行ったインタビューの中から、スポーツ・音楽・芸術領域で高い評価を得ている優れた指導者による発話をもとに見ていきたい。まずは、技術向上を志向する指導者たちの発話に目を向けてみることにする。

高校生の世代に必要な技術、例えばボールコントロール、パスの精度、両足で蹴れる、多様性、判断力などを身体に染み込ませるように指導します（サッカー指導者）。

知識とか、経験とか、趣味とか、自分の個性とか、そういうものを合わせてこういうものを作ろうとこういう風に弾きたいと思ったときに、自分の手や体、足も全部が言うことをきくように訓練することが必要です（ピアノ指導者）。

ビンがちゃんと立体的に見えて、なおかつ温かみがあって、飲むと幸せそうに感じる光が注いでいるっていうのがそこにあったり。センスだけではだめで、技術を知らないと撮れない。このライト、こうたかないとダメだとか、後ろと前の比率、光の強さの比率をこのくらいにしておかないといけないとか、そういうのは職人の世界じゃないと撮れない（カメラマン）。

ただ感性だけでは弾けません。それをどう表現するかということも必要です。音楽をやる人間は表現者でもあるわけです。音で。だから自分の選べるものは数多くもっていた方がいいです。その条件を増やしておくのです。練習で（ヴァイオリン指導者）。

上記の例からも明らかなように、スポーツ・音楽・芸術において目指される事柄の一つとして、勝利・記録・演奏・作品といった結果を導くために必要とされる技能の向上が挙げられる。この技能向上過程は、運動学習の視点からは、当該領域活動に求められるスキルを獲得し改善し発揮するための意図的な試みの過程と捉えられる。このスキルは、例えばスポーツにおいては、「最高の正確さで、またしばしば最小の時間とエネルギーあるいはこれら両者の消費で、あらかじめ結果を生じるように学習された能力」と定義づけられている。一方、音楽におけるスキルの解釈について、梅本は、音楽演奏（演奏行動）におけるスキルを、「楽

譜に書かれた曲を楽器（声帯・身体も含む）の操作によって具体的な音響として表現する非常に複雑なスキル」であり、そうしたスキル獲得の過程は、「スポーツや演劇などのように限定された時間内に順序よく定められた遂行行動をしなければならない作業に共通した性格」とした上で、準備行動としての読譜、演奏基礎技能、演奏技能、暗譜、表現技能、遂行技能を挙げている。また、この演奏技能は、音響の次元に下がって楽譜から要求される音を出すためのスキルとして、ピッチ、強さ、テンポ、音色のコントロール及び基本パターンの四つに分類している。

こうしたスキルの理解において、求められる動作結果としての熟練技能は、「あらかじめ決められた結果に合わせること」が、「望ましい目標を達成」し、それが再現性という形で「最高の正確さ」を発揮し、コストパフォーマンスの高さという点でエネルギー消費量とパフォーマンス遂行時間が最小化されたものと解釈されている。この熟練技能の追求過程は、（a）関係した環境の特徴を知覚する知覚過程、（b）何をすべきか、それをどこで、いつすべきかを決定する意思決定過程、および（c）運動を発動するために組織化された筋肉活動を行う運動産出・制御過程、の中で示される運動スキルをいかに獲得するか、そのための情報の処理、変換、貯蔵という情報処理過程のモデルによって説明がなされる。そうした熟練パフォーマンスの獲得は、エリクソン等による熟達化理論によって説明されている。エリクソン等は熟達化過程を注意深く組み立てられた練習（deliberate practice）によって説明する中で、卓越した技能獲得に不可欠な要素として、楽しみとは異なる、パフォーマンス向上のみを目的とする意図的・継続的・反復的な練習を挙げている。エリクソン等によって示された注意深く組み立てられた練習の蓄積による熟達化の枠組みでは、スキルの一種としての音楽演奏技能の自動化過程における指導者の役割が明確に位置づけられている。実際の指導場面で指導者が情報のフィードバックを行う光景は、情報処理モデルに依拠した熟達化を目指すひとつの側面を提示しているかのように見える。

しかし、こうした視点のみでスポーツ・音楽・芸術領域におけるわざの学びを理解することは、人の学びにおいてやりとりされる情報の意味性、あるいは学びそのものの意味性という視点が欠落していると言える。この点について、梅本は、音楽は矛盾にみちた内容をもつものとした上で、「音響であると同時に思想をあらわし、論理的構造をもちつつ感情を動かすものであり、人類に普遍的な面をもちながら、ある社会に特有の内容と形式をもつもの」とし、音楽において共有する情緒性や意味解釈の重要性を指摘している。また梅本は、音楽は「単なる音響のランダムな集合」ではなく、「旋律、リズム、和声それぞれは断片的に継続しているのではなく、もっと長いまとまりとして楽句、楽章をもち、その中では旋律やリズムや和声には意味のある展開が見られる」のであり、さらに「全体として一つの思想や物語、あるいは情景を表現している」がゆえに「音楽は音響であると同時に思想や構造をもつという重層構造を」もっていると説明している。したがって、速く正確なコンピュータによる演奏は、「表現というよりも単なる説明であって、音楽の創造と結びついた生（なま）の演奏とは言えない」のであり、逆に「人間による演奏は楽譜に書かれた情報を超えており、そのため

に根強い感心と魅力を獲得している」のである。

同様に一柳は、「感情や感性を極力排除すること」により、正確に楽譜を音にする演奏を求めたセリーに触れ、そこには「音楽の身体性の欠落」あるいは「聴覚性の退行」が見られると指摘している。

では実際の学びの場ではこの点についてどのように捉えられているのだろうか。あるヴァイオリン指導者は、テクニックと技能を区別した上で、音楽を作り上げていく上での世界観や精神的な成長の重要性に触れ、またピアノ指導者は表現の前提としての志向性に触れ、次のように述べている。

促成栽培はいくらでもできる。ただ精神的なものはついていかない。気持ちはついていけない。だからそこが問題なのです。ヴァイオリンという楽器の。やはり音楽の世界では、人間として熟練しなければならない（ヴァイオリン指導者）。

水滴がポトって落ちるようなタッチのように、本当に美しいものを求める気持ちがあって初めて、腕や背中の運動能力が開発されていく。だからその前に求める気持ちがないとダメ（ピアノ指導者）。

また、あるヘアデザイナーは、美容の世界における人を意識した美容のわざのあり方に触れて次のように述べている。

美容も技術、技術というけれど、僕等の世界は、カットが何ミリ違ったという世界ではないと思うのです。お客さんが認めてくれる、ああこの人じょうずだなって。結局、彫刻家ではないから、お客さんという、生きたものの上につくっているわけです。発想したり、そのお客さんのことを考えて似合うようにつくってあげたり、いろいろ聞き出してこんなのは嫌だろうな、それじゃこういうふうにしてあげようかと。やはり心の部分がつくる世界です。美容の世界は。アーティストじゃなければいけないとも思うし、そればかりでもいけないという部分もあります（ヘアデザイナー）。

フィギュアスケートの指導者は、選手の演技に込められるわざの関係性、表現性の重要性に触れ次のように述べている。

フィギュアスケートは美しさを競う競技。本当の美しい演技には選手の人間性全体が滲み出てきます。巧みな動作や高度な技術で表現しつくそうとする美しさは演技の表面的な一部分であって、それだけではごまかせない。もっと本質的な部分、例えば選手の人間性、価値観、観客と共有する心の部分、そういったところに共鳴できる美しさを表現できなければだめなのです（フィギュアスケート指導者）。

こうした人が教え学ぶ場における情報の意味性を視野に入れた身体技能の解釈として、生田は、「単なる身体技術あるいは身体技能の習得および教授を超えた、形で存在する「まとまりのある身体活動において目指すべき『対象』全体を指し示」す「わざ」という概念を提示している。そこでは人の学びが、「学習者自らが『わざ』の世界に身を置く――世界への潜入――ことにより、『わざ』の技術的習得のみならず『わざ』の世界全体の意味連関を身体全体でつくりあげていく過程」として捉え直されている。

ここで、人の学びという視点からスキルとわざを比較した場合、スキル獲得が合理的効率的な情報処理機能の定着・自動化を目指すのに対し、わざの学びはそうしたプロセス自体の意味の解釈を伴いながら目指す状態に至ることが志向されると理解できよう。換言すれば、スキル獲得過程とわざ習得過程の違いは、スキル獲得過程は、動作遂行者が効果的に目標を達成するために、（1）関係した環境の特徴を知覚し、（2）何をすべきか、それをどこでいつすべきかを決定し、（3）運動を発動するために、組織化された筋肉活動を行う、という三つの要素について効率的な熟達化を進めるものであるのに対し、わざの学びは、学びの世界に身を置くことによって動作全体を状況の中に意味づけ価値づけていく営みであり、結果として求める動きが導かれていく状態を志向するもの、と解釈することができる。

北村勝朗「熟達化の視点から捉える「わざ言語」の作用――フロー体験に至る感覚の共有を通した学び」（生田久美子・北村勝朗（編著）『わざ言語――感覚の共有を通しての「学び」へ』慶應義塾大学出版会、二〇一一年、三五～四〇頁）

※文中にある参考文献は省略した。

問一　スポーツ・音楽・芸術領域において目指されている事柄とはなにか。課題文を参考に、四〇〇字以内で説明しなさい。

問二　あなたが専門とする音楽・芸能におけるスキルの獲得と「わざ」の習得について、具体例を挙げながら八〇〇字以内で述べなさい。

令和四年度 沖縄県立芸術大学音楽学部 一般選抜試験問題
科目名〈初見視唱〉琉球芸能専攻 琉球舞踊組踊コース

組踊「執心鐘入」　問題 A

①若松詞

此宿のうちに
物知られしやべら
旅に行暮れて
行先もないらぬ
御情に一夜
からち給うれ

②女詞

親の留守なかに
宿からち置て
与所知れてわぬや
浮名立ちゆめ

③若松詞

おやの留守てやり
自由ならぬでいふすに
繰返ちまたや
いひぐれしやあすが
わぬや中城
若松どやゆる
みやだいりごとあてど
首里にのぼる

④小僧(二)詞

あたら花盛り
一人しちならぬ

出典：伊波普猷編『校註 琉球戯曲集』一九九二年 榕樹社
＊一部、異体字を改め、句読点については省いた。

令和四年度 沖縄県立芸術大学音楽学部 一般選抜試験問題
科目名〈初見視唱〉琉球芸能専攻 琉球舞踊組踊コース

組踊「執心鐘入」　問題 B

①若松詞

露でやんす花に
宿かゆる浮世
慈悲よ御情けに
からちたばうれ

②女詞

まれの御行合さらめ
あまく片時も
起きれゝ里よ
語らひぼしやの

③若松詞

悪縁や袖に
むすばはんばからひ
わ身や首里みやだいり
やてど行きゆる

④小僧(一)詞

尋ねゆる里や
夢やちやうも見だぬ
急ぢ立戻れ
女わらべ

出典：伊波普猷編『校註 琉球戯曲集』一九九二年 榕樹社
＊一部、異体字を改め、句読点については省いた。

令和４年度沖縄県立芸術大学音楽学部学校推薦型選抜試験（問題）

科目名：　　楽典　　専攻名・コース名：　　音楽表現専攻

Ⅰ　下記の楽譜１）は、ショパンのノクターンの抜粋です。以下の設問に答えなさい。

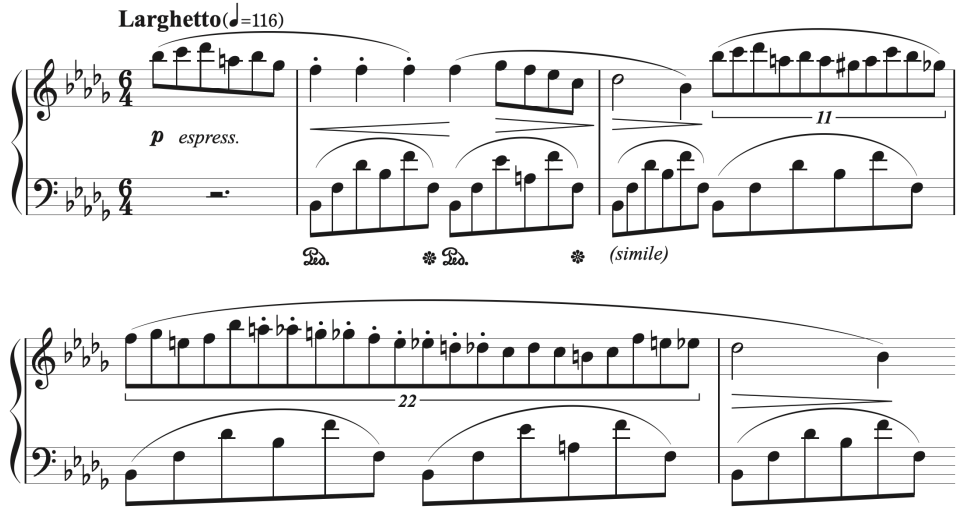
１　楽譜１）の調をドイツ語で答えなさい。

２　楽譜１）の調の音階を、調号を用いて書きなさい。
（長調の場合は長音階の上行形、短調の場合は和声短音階の上行を書くこと）

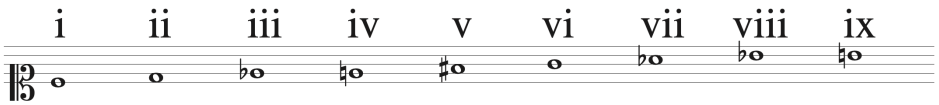
３　冒頭の速度標語の意味を答えなさい。

４　第１小節と第２小節を長二度上に移調し、調号を用いないで解答用紙に記入しなさい。
（強弱記号なども全て明記する。）

楽譜１）



Ⅱ　下記は、メシアンの「移高が限られた第３旋法」です。ⅰ～ⅸの音を組み合わせてできる和音（異名同音を含む）の種類を例にならって答えなさい。



例 ⅱ＋ⅵ＋ⅷ　　１　ⅰ＋ⅳ＋ⅵ　　２　ⅰ＋ⅲ＋ⅶ　　３　ⅱ＋ⅴ＋ⅷ

４　ⅰ＋ⅲ＋ⅵ　　５　ⅰ＋ⅲ＋ⅴ＋ⅶ　　６　ⅰ＋ⅲ＋ⅵ＋ⅷ

Ⅲ　下記の楽譜２）は、ショパンのノクターンの抜粋です。以下の設問に答えなさい。

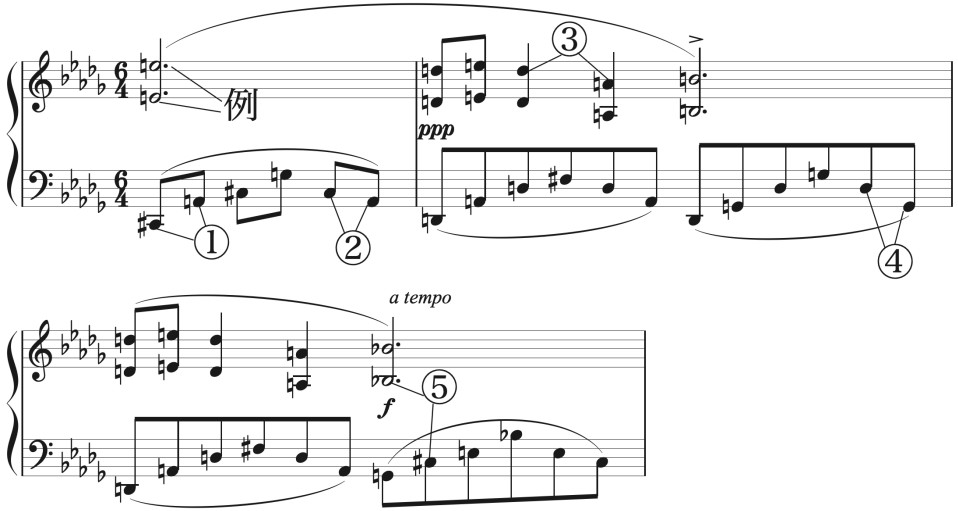
１　①～⑤の音程を例にならって答えなさい。（複音程は単音程に直すこと）

２　楽譜２）の調をドイツ語で答えなさい。

３　問２で答えた調の主要三和音を解答用紙に指定された譜表に調号を用いて全音符で書きなさい。また、その名称を譜表の上部に、和声記号を下部に書きなさい。

４　楽譜２）の完全小節を♩＝80 のテンポで演奏した時の演奏時間を秒数で答えなさい。
（ただし、演奏によるテンポの変化はないものとする）

楽譜２）



Ⅳ　次の楽語の意味を答えなさい。

１　assai　　２　Andante　　３　più mosso

４　calando　　５　accel.　　６　affettuoso

令和４年度沖縄県立芸術大学音楽学部学校推薦型選抜試験
（模範解答）

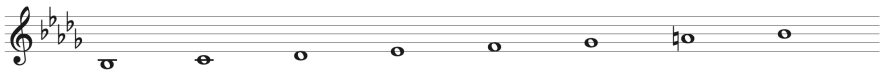
科目名：　楽典

受験番号	

I

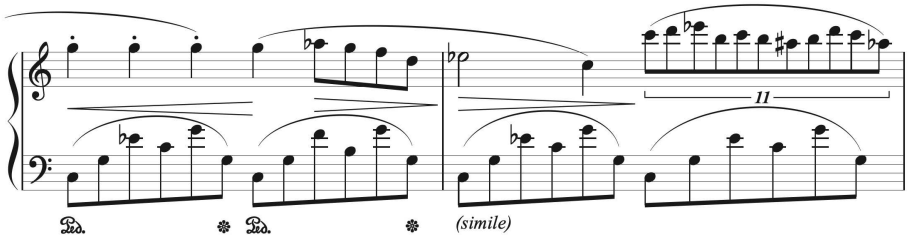
1　b-moll

2



3　ラルゴよりやや速く（やや幅広く緩やかに）

4



II

例　短三和音

1　長三和音　　2　長三和音　　3　増三和音

4　短三和音　　5　属七の和音（増六の和音）　　6　短七の和音

III

1

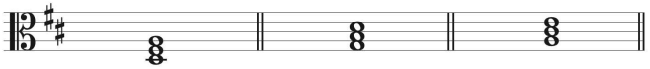
例　完全八度　　①　短六度　　②　長三度

③　完全四度　　④　完全五度　　⑤　減七度

2　D-dur

3

名称（　主和音　）（　下属和音　）（　属和音　）



和声記号（　D: I　）（　D:IV　）（　D: V　）

※「D:」は省略可

4　９秒

IV

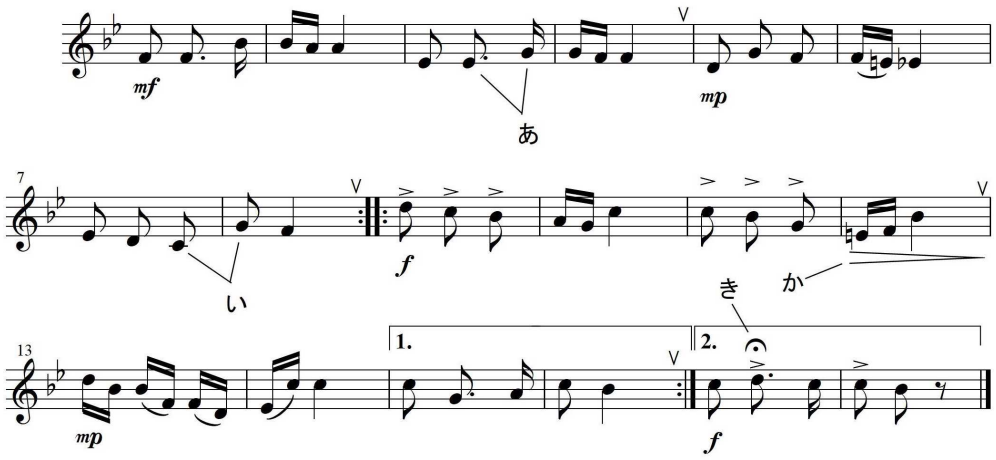
1　極めて　非常に（充分に）　　2　歩くような速さで　　3　今までより速く

4 次第に遅く次第に弱く　　5　次第に速く　　6　愛情を込めて　優しく

令和4年度沖縄県立芸術大学音楽学部学校推薦型選抜試験

科目名：楽典　　専攻名・コース名：音楽文化専攻沖縄文化コース、琉球芸能専攻

1．次の楽譜は、ナポリ民謡《サンタ ルチア》の旋律である。次の(1)～(6)の問いに答えなさい。



(1) この曲は、何分の何拍子か。

(2) この曲は、何調か。

(3) **あ、い** の音程はそれぞれ何度か。解答用紙の例にならって答えなさい。

(4) **か、き** の記号の名称と意味を答えなさい。

(5) この曲を♪=96の速度で演奏すると、全曲演奏するにはおよそどのくらいの時間がかかるか。計算式を書いた上で、時間を答えなさい。（演奏上の速度の変化は無視すること）

(6) この楽譜の1段目（1小節目から6小節目まで）を全音高い調に移調し、解答用紙の五線に書きなさい。その際、ト音記号を書き入れること。

2．次の(1)～(2)の問いに答えなさい。

(1)解答用紙の五線に、次の音階の上行形を、全音符で臨時記号を使って書きなさい。

ア　ニ短調（和声的短音階）　　**イ**　イ長調

(2) 解答用紙の五線に、次のコードネームが示す和音を、全音符で臨時記号を使って書きなさい。

ア　Am　　**イ**　F　　**ウ**　G7

3．次の(1)～(9)の問いの中から、5つを選んで答えなさい。なお、選んだ問いの番号を解答用紙の（　）に書くこと。

(1)ハ短調の同主調は何調か。

(2) 次の強弱記号を強いものから順に並べなさい。

mp　*pp*　*f*　*mf*　*p*

(3) 次の中から、複合拍子を選んで答えなさい。

4分の4拍子　8分の6拍子　4分の3拍子　2分の2拍子

(4) 4分音符を3等分する3連符を書きなさい。

(5) 次の中から、作曲家の名前ではない用語を1つ選んで答えなさい。

モーツァルト　スメタナ　シューベルト
フーガ　チャイコフスキー

(6) 三線の本調子において、中絃をF（ヘ音）とすると、女絃はどの高さの音になるか。音名で答えなさい。

(7) 三線の二揚調子において、男絃と中絃の音程は何度か。1．(3)の例にならって答えなさい。

(8) 琉球箏曲の本調子の調弦において、三の絃と八の絃の音程は何度か。1．(3)の例にならって答えなさい。

(9) 次の中から、組踊の演目名を1つ選んで答えなさい。

越天楽　執心鐘入　勧進帳　六段の調　羽衣

令和４年度沖縄県立芸術大学音楽学部学校推薦型選抜試験
（第３試験室）

科目名：楽典（解答用紙）

受験番号	

１．

(1)　８分の３拍子　　(2)　変ロ長調

(3)　[例]　短７度

あ　長３度　　い　完全５度

(4)　か　名称　デクレシェンド（ディミヌエンド）　意味　だんだん弱く

き　名称　フェルマータ　意味　音符（または休符）をほどよく延ばす

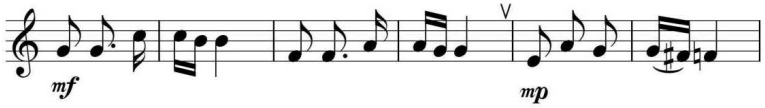
(5)

計算式

６０÷９６×３×３２＝６０

６０　秒

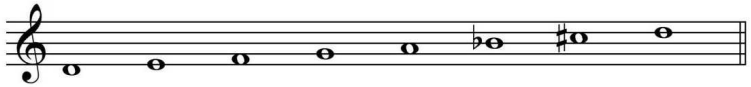
(6)



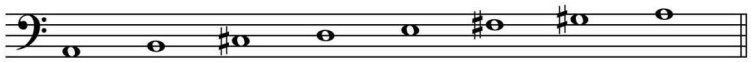
（演奏上の記号は無くてもよい）

２．

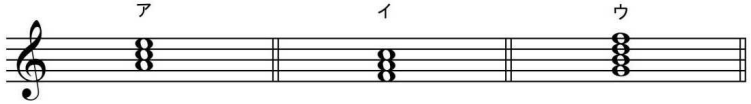
(1)　ア



イ



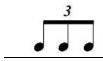
(2)



３．

（１）ハ長調　　（２）*f*　*mf*　*mp*　*p*　*pp*

（３）８分の６拍子　　（４）



（５）フーガ　　（６）C（ハ音）

（７）完全５度　　（８）完全８度

（９）執心鐘入

☆解答用紙送信手順

解答終了後、解答用紙を写真撮影し、その画像データを下記のメールアドレスに添付送信してください。その間、zoom への入室は保持してください。メールの件名には受験番号を記入してください。本文への記入は必要ありません。解答用紙 1 ページにつき一つのデータでお送りください。データは解答用紙全体が見られるものであり、解答内容が鮮明に確認できるものにしてください。

第３試験室メールアドレス：musicexam3@okigei.ac.jp　　非常時連絡先：098-882-5080

令和４年度　沖縄県立芸術大学音楽学部　学校推薦型選抜

小論文（音楽文化専攻　沖縄文化コース・音楽学コース）

１．出題の意図

出題は、現代の社会と音楽・舞踊との関わりについて論じさせることにより、受験者が音楽・舞踊にどのように接し、どのように考えているか、またその考えをどのように他者に対して的確に伝えることができるかを問うものである。

２．評価の観点

・音楽や舞踊に対する知識・理解、関心・問題意識
・論理性、思考力
・独創性、発想力
・文章構成力・表現力（誤字脱字や文章の技術等も含む）